

私、楽しく活動しています

コロナ禍でも頑張っている人たちを特集しました。

若い人に負けない体力を維持して

野村 靖彦さん(鶴瀬西)



会社員のころから山に関係のある仕事をしていて、関係と趣味とで、多くの名山を挑戦してきました。80歳半ばを過ぎた今でも、仲間との登山行の他、月1回は近場の山をコロナに気を使いながら、1人で登って体力の維持を心掛けています。

歩く会「鶴瀬西二歩の会」に入って24年、多くの山々を登頂してきましたが、この2年間はコロナ禍のため、満足な活動が出来ませんでした。ここにきてようやく活動を開始しています。

5月25日に、二歩の会7月度計画の「湯ノ丸山・烏帽子岳登山」の下見に男女4人で行きました。

《鶴瀬から地蔵峠まで車で2時間、登山口から新緑の中、鞍部の鐘分岐まで40分、さらに直登を40分ですぐに稜線に出る。湯ノ丸山南峰は広い頂で浅間山や籠ノ登山が展望され、稜線の風景を楽しみながら、昼食をとる。頂上を後に、烏帽子岳に向う。鞍部まで降りて、40分で白樺樹林を抜け稜線に出る。稜線歩きを50分、烏帽子岳山頂に着く。南の佐久平のむこうに北アルプスの山々が一望される。下りは、鞍部を経て地蔵峠まで1時間20分でした。》

下見に基づき実施計画を作り、本番で会員の皆さんを安全に楽しく案内します。

登山は、その季節ごとの山々の風景と、咲き誇る花々を楽しめ、日々の疲れを癒してくれる、苦しい時もあるが楽しい活動です。

二歩の会では、その人の体力に合わせたコースをたくさん計画しています。興味のある方は連絡ください。

鶴瀬西二歩の会

問合せ：☎049-252-0163

技術の進歩を追いかけて

萩原 弘さん(鶴馬)

特に最近思うことがあります。科学の進歩発展が急上昇で、私など全然ついていけず歯がゆく思っています。そんな時代になっているのに、私はまだ「ガラケー」でスマホには縁が遠い状況ですが、それで？何を言いたいのかと言われそうですが、機械の多機能化のことです。例えば私が昔の一時期、このようないたずら書きのような「速記」に興味を持ったことがあります。50~60年も前のことで、当時の日記で何が書かれているのか今ではさっぱり分かりませんが、スピードをもってお話を文字化することは当時の仕事として素晴らしく見え、ビジネスとして時代を先取りする先端技能と考え希望を持ってとりかかったものでした。が、実際には大変な作業だと分かり、

努力の成果、一気に進んだIT化

佐藤 千枝子さん(鶴馬)

2020年3月13日、新型コロナウイルス緊急事態宣言の発令によって、私が活動している音訳グループ「かたりべ」の活動拠点である市民活動センターぱれっとが長期間閉鎖になってしまった。毎月市から委託されている「広報」の録音どころではないとの声もあがり、当初は情報がなく不安ばかりが膨らんでいた。

昭和56年国際障害者年スタートの年に、都内から転入した利用者からの広報のテープを要望する声と、朗読ボランティアをしたいという1人の主婦の強い申し入れを受けて、社会福祉協議会が第1回目の朗読技術養成講座を開催した。昭和58年に朗読ボランティア「かたりべ」が発足し、「音声版広報ふじみ創刊号」が発行されたと記録にある。

私が朗読者養成講座を修了後、平成11年に「かたりべ」に入会して21年が過ぎた。21年間の活動の中、コロナ感染が拡大した時は、ちょうどグループがアナログ録音からデジタル録音へ移行していこうという転換期だった。

デジタル録音の音源はインターネットで送受信ができるので、この緊急事態宣言の発令後にも、「声の広報」を休むことなく続けられた。自粛生活の中でも、会議はZOOM(※)で、連絡網はLINEで、データ送受信はインターネットでと決め、人に会う機会を避け、録音・校正・編集・ダビング・発送作業が出来る方法をとった。私も自宅でマイクの前に座った。グループでの話し合い、利用者さんとの会合など、直接に話し合うことの大切さ実感しつつ、油断は禁物であるが、コロナ禍を乗り越えられたことに安堵している。

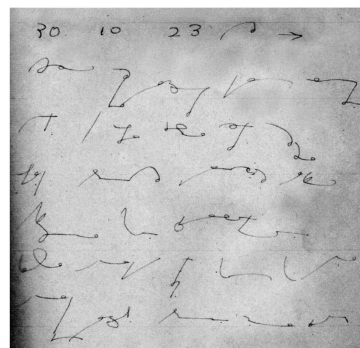
コロナ禍で必要に迫られてIT化が進み、不慣れだった人も前向きに取り組んでいる「かたりべ」である。

(※) ZOOM…パソコンやスマートフォンを使用し、ビデオ会議(web会議)ができるアプリケーション。



挫折してしまったのだと思っています。「速記」なんてすっかり忘れていましたが、本棚の隅にあった古い日記帳から当時は懐かしく思い出しました。

今はスマホに話しかけたり、疑問を問かけると即座に音声で答えてくれるいい時代になりました。これから先、いろいろなものが生まれ変わり、生活様式も変わってくることでしょう。心機一転、スマホに挑戦したいと思っています。



速記で書いた昭和30年10月23日の日記

楽しいよ、ボーイスカウト

氏家 治子さん(鶴瀬西)

「ボーイスカウトって、何をしているの?」と、よく聞かれます。赤い羽根共同募金、街の清掃の奉仕活動の姿は皆様もご覧になったことがあると思います。これらの奉仕は、活動の一部です。身体を動かすのが好き、それより工作のほうが好き、すぐに人と話ができうちとけることができる、少し時間がかかるなど、子どもたちは様々です。ボーイスカウトでは子どもたちの特性を考えて、活動プログラムを行っています。得意なこと、少し苦手なこと、興味があること、ないこと・・・活動にあたって、全てのことに「まず、やってみよう」そして「最後までやり遂げよう」と、取り組んでいます。仲間と活動をし、体験をしていくうちに子どもたちの自主性、協調性、社会性、たくましさ、リーダーシップを育む、コミュニケーション能力を高めるなど社会を生き抜く資質、能力を養っていきます。



AIなどの発達により、多くのことが自動化される時代です。生き抜く力、自分らしく活躍できる力を身につけることができるように、私たち指導者はスカウトと共に活動しています。

ボーイスカウト おもな活動

ミニ運動会、工作、ハイキング、山登り、サイクリング、キャンプ、スキーなど
対象：男女ともに年長から
問合せ：ボーイスカウト富士見第1団 氏家 治子
☎049-252-0931、080-1157-8113

コンフォール『鶴瀬団地まつり』

野村 東央留さん(鶴瀬西)

令和2年に発生したコロナウイルス感染症は、現在も収まる気配がない。この間、コロナの感染拡大で地域の交流は皆無になってしまった。高齢者の多いコンフォール鶴瀬団地では少しでも交流を図りたいと、感染予防をして「ふれあい喫茶」「唄う会」「映画会」「CDコンサート」などで住民同士の交流を続けてきた。



ふれあい喫茶(5月26日)

今年は2年ぶりに『団地まつり』を開催予定。団地の敷地内広場に野外ステージを組み、バンド演奏、和太鼓、子どもキッズ、輪踊りなど。また、焼きそば、唐揚げなどの模擬店や、子ども神輿、ゲームなどで交流を深め、地域を盛り上げたい。お楽しみに!!

コンフォール鶴瀬団地まつり

日時：7月23日(土)
午前11時~午後3時40分(雨天翌日)
会場：コンフォール鶴瀬団地内広場
主催：コンフォール鶴瀬自治会

